

■研究・実践の課題（テーマ）

微生物を用いた公共施設の除菌、感染防御に関する研究

■主任研究者 岸本満

■共同研究者 渡邊昌次

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

目的：朝日メンテナンス工業㈱がトイレ衛生管理に使用する CBS（クリーンバイオシステム®ホテイ産業研究所）の洗浄・殺菌効果を検証する。CBS は土壌由来の好気性微生物を利用して便器の汚れ、悪臭除去を行う用具として開発され特許を取得したが、これを清掃水及び洗浄水として応用したところトイレ環境全般の除菌、悪臭減少が観測された。そこで、本研究では CBS が公共施設等の除菌にそして感染防御の効果について明らかにすることを目的とする。

方法：1) 大型商業施設トイレ環境の微生物学的衛生状態の実態調査を行った。

2) CBS に利用される好気性微生物の菌叢解析を行った。トイレ環境中の悪臭の原因微生物である黄色ブドウ球菌に対する生育拮抗性を検証した。

結果（抜粋）：[別紙1参照](#)

単離同定した 5 株（S1~S5）のうち S2 と S4 の 2 株が黄色ブドウ球菌の増殖抑制活性が高いことを示唆するデータが得られた。